

1/5

No	システム区分	機能範囲1	機能範囲2	開発区分	システム概要	運用フロー	運用人員	システム連携
34	柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム	柔整件数入力処理		基盤ベンダ	施術所等から提出される柔道整復施術療費支給申請書の受付管理及び国保・後期の検証日に必要な総括データを作成するため、システムに施術所ごとの件数と金額を入力する。また、受付した申請書をパンチ業者に受け渡す際の授受簿を本システムから出力する。 標準システムとの比較 ・標準システムに機能なし	毎月5日～12日にシステムへの入力を実施 手帳等については、別紙「柔整受付時マニュアル」を参照	連合会：3名 運用業者：1	総括データ作成処理及び業務開始処理 【常駐SEによる構築のため、入力省略】
35	柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム	総括データ作成処理		基盤ベンダ	柔整件数入力処理で入力を行った施術所ごとの件数・金額から、国保総合システム・後期請求支払システムの検証に必要な総括確認用のインターフェースの出力を行う。	総括データ作成画面において対象となるデータ（国保・後期）を選択し、「出力」をクリックしインターフェースの作成を行う。（毎月、各検証日の前日まで実施する。）	連合会：1 運用業者：1	柔整件数入力処理
36	柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム	特別療費費レセプト取込処理		基盤ベンダ		受託・県内・委託のそれぞれについて、特別療費費の修正が完了したタイミングで取込処理を実施。 福岡県独自のシステム＝柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム＝特別療費費レセプト取込画面から ・国保特別療費費レセプトデータ ・後期特別療費費レセプトデータ ・国保特別療費費過誤データ ・後期特別療費費過誤データ をそれぞれ実施。 本処理実施後、No.39機能により、医療機関向けの審査結果通知および過誤通知が出力可能。 （ただし、No.39機能から出力可能な通知書については現在使用していない） また、本処理を実施することで、00連合会レポート・審査調整課療費費係-特別療費費レセプト件数-特別療費費レセプト件数から保険者毎の件数一覧のExcelが出力可能。当該件数一覧を添付のうえ、保険者送付起案の決裁を受ける。	1名	
37	柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム	審査結果通知書出力処理		基盤ベンダ	医療機関から提出を決定を行った特別療費費に係る審査結果通知及び保険者より申出のあった特別療費費の過誤に係る返戻通知を出力するもの。	No.38の「柔整受付及び特別療費費審査結果通知書作成システム」特別療費費レセプト取込処理」を実施後に通知出力が可能となる。	1名	
38	国保請求支払業務	エラー情報生成	福祉マスタメンテナンス	基盤ベンダ	国保請求支払システムおよび後期請求支払システムのエラーチェック、調定データ、県／市町村独自助成振り分け計算データおよび子障親医療振替調整連絡票より、財務会計システム連携用調定データ等の作成に必要な福祉マスタのメンテナンス画面。 ・各市町村より提出された福祉情報データ（テキストファイル）を読み福祉マスタへ一括登録処理を行う。 ・取込不可となったデータのファイル名、投入件数、エラー件数、現在、福祉マスタに登録されている市町村数をテキストファイル形式で出力し、エラー情報を付加したエラーファイルをCSVファイル形式で市町村単位に出力する。 ・一括出力により福祉マスタの既存データ全件をCSVファイル形式で出力する。	・月中旬（12日～16日くらい）に処理を実施。 ・NECが市町村から送られる福祉マスタを受領、所定のフォルダに格納する。 ・共同電算係で一括取込処理を実施する。	1人	
39	国保請求支払業務	エラー情報生成	精神病床・障害チェックマスタメンテナンス	基盤ベンダ	制度に沿っていないレセプトのうちの精神病床・障害に関するレセプトを洗い出すため、精神病床・障害に関する診療行為コードもメンテナンスする画面。 ・精神病床・障害チェックデータ（CSVファイル）を読み込み、精神病床・障害チェックマスタへ一括登録処理を行う。 ・取込不可となったデータのファイル名、投入件数、エラー件数をテキストファイル形式で出力し、該当レコードにエラー情報を付加したエラーファイルをCSVファイル形式で出力する。 ・一括出力により精神病床・障害チェックマスタの既存データ全件をCSVファイル形式で出力する。 ・新規データの個別登録、既存データの修正、削除を行う。	点数表改正時など、精神病床の入院料等が新規追加または改正された場合に、データの新規登録や更新を実施する。	1人	
40	国保請求支払業務	エラー情報生成	公費実施者別助成状況データメンテナンス	基盤ベンダ	国保請求支払システムおよび後期請求支払システムのエラーチェック、調定データ、県／市町村独自助成振り分け計算データおよび子障親医療振替調整連絡票より、財務会計システム連携用調定データ等の作成に必要な公費実施者別助成状況データのメンテナンス画面。 ・公費実施者別助成状況データ（CSVファイル）を読み込み公費実施者別助成状況データテーブルへ一括登録処理を行う。 ・取込不可となったデータのファイル名、投入件数、エラー件数をテキストファイル形式で出力し、該当レコードにエラー情報を付加したエラーファイルをCSVファイル形式で出力する。 ・一括出力により公費実施者別助成状況データテーブルの既存データ全件をCSVファイル形式で出力する。 ・新規データの個別登録、既存データの修正、削除を行う。	子障親医療の県補助または市町村独自助成の範囲が変更された場合に、新規追加または更新を実施する。（主に年度初め）追加等が増数存在する場合は、変更箇所等を明記しNECに一括更新をしてもらう。	1人	
41	国保請求支払業務	エラー情報生成	精神入院助成状況データメンテナンス	基盤ベンダ	・精神入院助成状況データ（CSVファイル）を読み込み精神入院助成状況データテーブルへ一括登録処理を行う。 ・取込不可となったデータのファイル名、投入件数、エラー件数をテキストファイル形式で出力し、該当レコードにエラー情報を付加したエラーファイルをCSVファイル形式で出力する。		1人	
42	国保請求支払業務	調定データ等作成	県単保険者マスタメンテナンス	基盤ベンダ	県単保険者マスタテーブル：保険者番号／公費負担者番号（6桁もしくは8桁）を財務会計システムへ連携する保険者番号（3桁）に変換するマスタの追加／修正／削除ができる。 ・登録、更新、削除、絞り込み検索機能を実装します。また、CSVファイルからの一括取込および一括出力ができる。 ・一括取込時にファイル名、取込件数、エラー件数を記録したテキストファイルを出力し、取込不可のデータは該当レコードにエラー情報を付加したエラーファイルをCSVファイルで出力できる。		1人	
43	国保請求支払業務	調定データ等作成	収納区分マスタメンテナンス	基盤ベンダ	収納区分テーブル：保険者へ送付する請求書（納入告知書）に印字する収納区分／振込口座情報等を管理するマスタの追加／修正／削除等を実施する。 新公費などが増加になると、新規登録した収納区分の情報を本機能にも追加を行う。 個別入力は、連合会職員で実施することもできるが、複数ある場合の一括登録はNECに依頼する。		1人	
44	国保請求支払業務	調定データ等作成	県単手数料単価マスタメンテナンス	基盤ベンダ	県単手数料単価テーブル：子障親医療請求内訳書等（子障親月毎等データ作成機能）にて、審査支払手数料を算出するために使用する、手数料単価を管理するマスタの追加／修正／削除等が実施できる。 個別入力は、連合会職員で実施することもできるが、複数ある場合の一括登録はNECに依頼する。 手数料単価が変更される場合に、訂正して更新を行う。		1人	
45	国保請求支払業務	調定データ等作成	収納区分給付マスタメンテナンス	基盤ベンダ	収納区分給付テーブル：調定データに収納区分を付与するために使用する。収納区分を管理するマスタの追加／修正／削除等を実施する。 個別入力は、連合会職員で実施することもできるが、複数ある場合の一括登録はNECに依頼する。		1人	
46	国保請求支払業務	調定データ等作成	子障親医療振替調整連絡票データメンテナンス	基盤ベンダ	子障親医療に係る県補助対象医療費と市町村独自助成対象医療費の入れ替り等により、医療費の振替調整の必要がある場合に子障親医療における県補助対象と市町村独自助成分間の件数／金額調整に関してはレセプト単位で調整を行うことができないため、「子障親医療振替調整連絡票データ」を使用して処理を実施する。 市町村から提出された『子障親医療振替調整連絡票』をもとに振替調整データを作成・登録する。	1．市町村から「子障親医療振替調整連絡票」が提出される。 （毎月25日を締切） 2．子障親医療振替調整連絡票データメンテナンスで、連絡票に沿ってデータを新規登録する。 ※医療結果は、子障親医療受給者別一覧表（連名簿）及び、子障親医療診療療費等請求内訳書から確認することができ。		
47	国保請求支払業務	調定データ等作成	財務会計システム連携用調定データメンテナンス	基盤ベンダ	毎月の審査支払手数料及び医療費の調定データを作成するために利用している、財務システムに連携するために必要なを管理するためのシステム。 ・調定データの追加／修正／削除が可能。 ・調定データの項目のうち「納期日」「発行日」「処理日」「調定日」については、条件指定により複数のデータを一括して設定／修正可能。 登録・更新等が完了したら、NECに調定データ.csvを作成してもらう。	毎月処理の累積反映日に調定データ作成処理を実施。 【追加・修正・削除】 保険者番号：960 収納区分：審査支払手数料811、812 （登録内容）請求内訳書を見て、件数×手数料＝計の端数切捨て額へ修正 保険者番号：960 納期日：月末翌業日（基本31日） 収納区分：資格確認946 （登録内容）請求内訳書を見て、件数×手数料＝計の端数切捨て額を追加 保険者番号：900 収納区分：289、853 （登録内容）請求書を見て、額を追加 保険者番号：888 収納区分：245、520、521 （登録内容）削除フラグを付けて更新	1人	
48	国保請求支払業務	調定データ等作成	請求先マスタメンテナンス	基盤ベンダ	請求先マスタテーブル：保険者へ送付する請求書（納入告知書）に印字する請求先団体や請求先代表者等を管理するマスタの追加／修正／削除等を実施する。 個別入力は、連合会職員で実施することもできるが、複数ある場合の一括登録はNECに依頼する。		1人	
49	国保請求支払業務	支払額決定通知書再発行システム		連合会職員	本会で、支払額決定通知書を任意はがきで医療機関等に送付している。 医療機関等からの再発行依頼により、履歴管理・はがき形式（圧着せず、封筒に封入して送付）での出力を可能とする。	医療機関等から依頼があった場合、本システムにおいて、処理年月、医療機関コードにより検索し、印刷を実行する。（随時・請求支払係）		
50	国保請求支払業務	訪問看護ステーション施設基準管理システム		連合会職員	訪問看護ステーションレセプトは紙レセプトのため、施設基準のエラーが付与されないことから、請求レセプトから本システムに施設基準（コード）を登録し、届け出情報と不一致があるものを担当職員が確認する。	①請求レセプトを確認の上、施設基準（コード）を総括票に記入（医科看護課第2係担当職員・監職） ②上記コードをでパンチした総括票データが指定フォルダに格納される。（パンチ業者） ③本システムで上記総括票データを登録。（医科看護課第2係担当職員2名） ④「一覧・一覧」又は「一覧」リストを出力し、確認・処理（未届の場合に送戻・査定）（医科看護課第2係担当職員2名） ⑤は検証日の前々日～検証日（2日間） ⑥施設基準（コード）の管理（新規・変更）（請求支払係）		総括票/パンチデータ（パンチ業者）
51	国保請求支払業務	厚生局医療機関情報	新規情報作成処理	連合会職員	・新規指定又は届出変更医療機関に対し、医療機関台帳、過誤引き受書、変更届出書様式等を印刷し、医療機関へ送付する。	①厚生局から送付された新規指定届出書をパンチ（Excel：職員又は派遣職員） ②パンチデータと届出書原本を突き合わせ確認 ③①のデータを本システムに取り込む（仮マスタ）→一覧表印刷（不使用：見にくい）→④ ④台帳登録票（プレ印刷にデータ印字）、過誤引き受書、封筒（宛名）をそれぞれ印刷する。 ⑤送達された台帳登録票を業者へパンチ依頼 ⑥⑤のパンチ済データを取り込む（結合処理） ⑦⑥の登録後の一覧表印刷し確認 ⑧国保システムへ連携するため、本マスタCSVを出力し、NECに渡す。→NECにて運用処理		・国保総合システム：医療機関マスタ
52	国保請求支払業務	厚生局医療機関情報	変更情報作成処理	連合会職員		①画面より変更届出送付が必要な医療機関を検索する。（国総システム医療機関情報リンク？）→本システムに登録 ②一覧印刷（登録した医療機関の一覧表）→不使用（見にくいので、登録票で確認） ③登録票印刷→医療機関へ送付する登録票を印刷する。（国総システムの登録情報を印字） ④計帳印刷→宛名印刷→医療機関へ送付 ⑤送達された登録票をもとに、国総システムにて入力。		・国保総合システム：医療機関マスタ
53	国保請求支払業務	柔道整復施術所台帳登録システム		連合会職員	・柔道整復施術所については、毎月提出の申請書を調剤療費費係で本システムに入力し、出力したCSVデータを国総システムへ連携。	・医療機関の新規情報作成処理と同様（画面レイアウトは別）		
54	国保請求支払業務	県外医療機関名称機種依存文字変更システム		連合会職員	・県外医療機関名称機種依存文字変換システムにより、出力帳票の文字化けを防止。	【県外医療機関名称機種依存文字変更システム】 ①国保中央会中央会専用ページより医療機関マスター（全県）をダウンロード ②データ交換システム（福岡県独自の情報系端末から業務系端末へのデータ交換用システム）により、①のダウンロードファイル（圧縮exeファイル）を開き福岡県のファイルを削除、再圧縮（zipファイル）して所定のフォルダにコピーする。 ③本システムにより、②のファイルを指定して抽出処理。 ④本システムの画面に一覧表示され、機種依存文字が存在する医療機関データは背景が黄色で表示される。 ⑤黄色で表示された医療機関のうち、九州各県・山口県、東京都、大阪府を対象として修正する。 ⑥⑤完了後、登録データ作成して、県外医療機関マスタCSVが作成されるので、NECに渡す。→国総システムへの連携運用。 ※改直点：機種依存文字が存在する医療機関データ（黄色表示）の絞り込み表示		・国保総合システム：医療機関マスタ
55	国保請求支払業務	公費28手数料請求内訳書作成システム	公費28手数料請求内訳書出力	連合会職員	【機能1】公費28（感染症）の審査支払手数料について、政令市及び中核市の1/2の額を県が負担することから、県が請求額の内訳を確認できるように独自の帳票を作成。（県の依頼）	①国保総合システムで作成された請求内訳書（電子帳票管理システムに格納）のうち、公費28に係る帳票が本システムに表示される。 ②「作成登録」を押下実行することによって自動的に当該帳票が作成される。 請求支払担当（1名）で調定処理日に運用 ※請求書（納入告知書）は、本会財務システムにより調定処理を行う際に同時に作成。	請求支払係1名	電子帳票管理システム
56	国保請求支払業務	公費28手数料請求内訳書作成システム	公費手数料請求内訳書負担者マスタ	連合会職員	【機能2】公費手数料請求内訳書負担者マスタ管理として、分割対象となる公費実施者（県・政令市・中核市）を登録・更新			
57	電子帳票管理システム	電子帳票出力		基盤ベンダ				
58	電子帳票管理システム	リアルタイム帳票出力		基盤ベンダ				
59	国保事業報告支援システム及び事業状況報告、調定申請書等作成システム	国保事業報告支援システム		他ベンダ	市町村への業務支援として開発されたシステムであり、国保総合システムから連携されたデータに加えて、保険者の自庁で把握している数値等を追加し、月報、県独自の子障親月報、所轄調査等の報告データを作成することができ、本システム等から事業報告システム（都築機関およびセクタテクノロジーのパッケージシステム）へデータ連携することができる。	別紙マニュアルを参照	NEC運用担当者 共同電算係担当 保険者63	他システムからの連携 有 ・被保険者マスタ（個人情報） （FDC_OHTKCRHJ） ・被保険者マスタ（世帯情報） （FDC_OHTKCRH5T） ・累積レセプト明細情報 （FDC_OHTKCRCP） ・累積レセプト過誤情報 （FDC_OHTKCR3HG） ・累積レセプト審査情報 （FDC_OHTKCR5SS） ・高額療養費支給申請・決定情報 （FDC_OHTKCSINS） ・高額療養費計算結果情報 （FDC_OHTKCSKEK） ・高額療養費計算過程情報 （FDC_OHTKCSKIT） ・医療機関マスタ （FDC_OHTKCR1Y0） 直接参照：突合（国保） （FDC_OHTKCTL5H） 他システムへの連携 有 事業報告システム（都築電機およびセクタテクノロジーのパッケージシステム）

No	システム区分	機能範囲1	機能範囲2	開発区分	システム概要	運用フロー	運用人員	システム連携
60	国保事業報告支援システム及び事業状況報告・調査申請書作成システム	地方単独事業状況報告作成システム		他ベンダ	国内の国保事業の状況を報告するシステムとして、国（厚生労働省）の仕様に基づき製造されたシステム（パッケージ）である。 スタンドアロンでの運用が基本であるが、本署ではクライアントサーバ型にて構築をしている。 市町村及び都道府県には、本システムまたは構築電機のスステムのどちらかが必ず導入されている。	別紙マニュアルを参照	NEC運用担当者 共同電算係担当 委託保険者45（含む）	他システムからの連携 有 他システムへの連携 有（厚労省の定形式にて県がデータ提出を行っている）
61	過誤繰越システム	処理指示 戻入額登録機能		他ベンダ	目的： 医療機関ごとに当月処理分の現金戻入額を記録する。 比較： 本機能は後期分に限り、国民分に係る機能は「FSINS331：未調整累積額対象医療機関検索」に該当する	別紙参照 本機能は②に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
62	過誤繰越システム	処理指示 後期請求確定明細データ取込機能		他ベンダ	目的： 後期高齢者請求支払システムから独自基盤上に取込まれた確定明細データを、各リストを出力する単位となる医療機関単位のデータと、過誤繰越相殺機能での相殺の単位である、医療機関、負担者、各区分単位に集約したデータを作成する。	別紙参照 本機能は③に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	後期高齢者医療請求支払システムより抽出された確定明細データ
63	過誤繰越システム	処理指示 戻入額相殺機能		他ベンダ	目的： 医療機関、保険者、各区分単位に保持した前月までの過誤繰越額と、戻入額登録機能で登録された医療機関毎の戻入額を相殺する。 比較： 本機能は後期分に限り、国民分に係る機能は「FSINS331：未調整累積額対象医療機関検索」に該当する	別紙参照 本機能は④に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
64	過誤繰越システム	処理指示 過誤繰越相殺機能		他ベンダ	目的： 「No.71 戻入額相殺機能」で相殺された過誤繰越額と、「No.70 後期請求確定明細データ取込機能」で取り込み作成されたデータの支払額を相殺する。また支払額がマイナスとなった医療機関について、当月の過誤繰越額としてデータを作成する。 比較： 本機能は後期分に限り、国民分に係る機能は「FSINS331：未調整累積額対象医療機関検索」に該当する	別紙参照 本機能は⑤に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
65	過誤繰越システム	処理指示 後期支払確定データ投入機能		他ベンダ	目的： 「No.72 過誤繰越相殺機能」で相殺されたデータを元に、国保総合システムへ連携する支払確定データをCSV形式でファイル出力する。	別紙参照 本機能は⑥に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	当機能より「支払確定CSV」出力 →国保総合システムへ連携
66	過誤繰越システム	処理指示 後期過誤繰越データ編集・抽出機能		他ベンダ	目的： 各種帳票作成等、二次加工を目的に当月の相殺後の過誤繰越データを編集し、CSV形式でファイル出力する。	別紙参照 本機能は⑦に該当	1名	無し
67	過誤繰越システム	処理指示 国保累積債権データ編集・抽出機能		他ベンダ	目的： 各種帳票作成等、二次加工を目的に当月の相殺後の過誤繰越データを編集し、CSV形式でファイル出力する。	別紙参照 本機能は⑧に該当	1名	無し
68	過誤繰越システム	処理指示 当月支払未調整医療機関リスト		他ベンダ	目的： 後期請求確定明細データ取込機能で集約した確定明細データから、振込先医療機関における当月支払未調整額がマイナスとなる医療機関情報を帳票出力する。	別紙参照 本機能は⑨に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
69	過誤繰越システム	処理指示 累積債権情報一覧リスト		他ベンダ	目的： 前月までの過誤繰越額と後期請求確定明細データ取込機能で集約した確定明細データから、振込先医療機関における当月未調整累積額がマイナスとなる医療機関情報を帳票出力する。	別紙参照 本機能は⑩に⑨に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
70	過誤繰越システム	処理指示 未調整累積解消一覧リスト		他ベンダ	目的： 前月までの過誤繰越額後期請求確定明細データ取込機能で集約した確定明細データから、振込先医療機関における前月未調整累積額がマイナスの場合、かつ、当月未調整累積額がゼロ以上となる医療機関情報を帳票出力する。	別紙参照 本機能は⑪に⑨に該当 運用スケジュールは当月審査分締日を基本とする。	1名	無し
71	過誤繰越システム	処理指示 月締め処理		他ベンダ	目的： 審査年月の処理を確定させる機能。業務管理テーブルの審査年月を翌月にする。 また、帳査調査用にデータのバックアップを行う。	別紙参照 本機能は⑫に該当 運用スケジュールは当月の支払処理完了後から翌月の繰越過誤システム利用前までとする。	1名	無し
72	再審査総合システム	再審査分析システム		基盤ベンダ	再審査申し出セプトに対する審査結果を保険者毎、診療行為毎等に集計・出力するシステム。 出力帳票を分析し、一次審査へのフィードバックや原審率の高い保険者への指導等に繋げることがを目的とする。	委託電算会社担当にて、毎月の確定処理後にしセプト電算処理システムから抽出したデータを入力する。 投入されたデータを職員が任意の条件及びタイミングで出力する。	3名程度	
73	第三者行為求償事務システム	メインメニュー		他ベンダ	・求償処理：受任案件について経過の記録・請求書等の作成 ・印刷処理：請求書発送に伴う封筒印刷・実績受任処理に係る帳票印刷等 ・データチェック処理：ログ印刷・進捗管理等の帳票作成・出力 ・手数料処理：求償事務手数料請求時における手数料額の算出、関係書類の作成・出力 ・保険者支援機能：お知らせ入力、参考資料のアップロード等、被保険者データの取り込み ・マスタメンテナンス：第三者行為求償事務に係る請求先の登録、事業所の入力等のデータ管理		12名	テーブル一覧を参照
74	第三者行為求償事務システム	保険者メインメニュー		他ベンダ	・勧奨通知処理：第三者行為に関する届出勧奨に係る該当者の検索・入力、通知の作成・出力 ・送受信処理：委任案件に関する連合会との確定額データの送受信処理 ・マスタメンテナンス：勧奨通知、督促状の文言変更等 ・任意処理：高額療養費、特別高額医療費情報の入力・修正、督促状の作成 ・印刷処理：参考資料・実績資料・受任状況・月後参考資料の出力		国保保険者担当者、後期高齢者医療担当者、連合会職員5名	テーブル一覧を参照
75	保険者問合せ要望支援システム	問合せ登録		基盤ベンダ	保険者が連合会へ問合せまたは要望等がある場合に、登録することができる。	設計書等参照		有（DB：保持（USR_KENTAN））
76	保険者問合せ要望支援システム	問合せ、回答一覧		基盤ベンダ	保険者が登録した問合せ等に対し、連合会で回答を行う。保険者はその回答の確認ができる。	設計書等参照		有（DB：保持（USR_KENTAN））
77	保険者問合せ要望支援システム	ファイル送信		基盤ベンダ	【保険者】 保険者から連合会へファイルを送信する。 【連合会】 連合会から保険者へファイルを送信する。	設計書等参照 説明会等の資料、また保険者からの問い合わせの回答などファイルがある場合、添付して送信する。		有（DB：保持（USR_KENTAN））
78	保険者問合せ要望支援システム	送信ファイル一覧		基盤ベンダ	【保険者】 保険者から連合会へ送信したファイル等の確認ができる。 【連合会】 連合会から保険者へ送信したファイル等の確認ができる。	設計書等参照		有（DB：保持（USR_KENTAN））
79	保険者問合せ要望支援システム	受信ファイル一覧		基盤ベンダ	【保険者】 連合会から保険者へ送信したファイルを受信する。 【連合会】 連合会から連合会へ送信したファイルを受信する。	設計書等参照 福祉マスタ、支払基金診療データ等毎月の運用に必要なファイルを受領し、また保険者からの依頼や問合せを受信している。		有（DB：保持（USR_KENTAN））
80	保険者問合せ要望支援システム	問合せ登録（代行入力）		基盤ベンダ	連合会職員が保険者になり替って問合せを登録することができる。再問合せも代行入力が可能。	設計書等参照		有（DB：保持（USR_KENTAN））
81	保険者問合せ要望支援システム	管理メニュー	カテゴリ追加・修正・削除	基盤ベンダ	カテゴリの追加、修正、削除を行う。	1．カテゴリ画面の初期表示 種別「問合せ」のカテゴリの一覧をリスト表示する。 2．種別の選択 種別を変更すると、その種別のカテゴリの一覧をリスト表示する。 3．「下位のカテゴリを編集」ボタン押下 押下前のカテゴリリストがカテゴリ1の場合、チェックボックスでチェックされたカテゴリの、下位のカテゴリ2の一覧をリストに表示する。 4．「上位のカテゴリに戻る」ボタン押下 押下前のカテゴリリストがカテゴリ2の場合、カテゴリ1の一覧をリストに表示する。 5．「押下前のカテゴリリストがカテゴリ3の場合、カテゴリ2の一覧をリストに表示する。 6．削除ボタン押下 カテゴリリストの任意のチェックボックスをチェックし、削除ボタンを押下することにより、選択した行のカテゴリを削除する。 7．「無効/有効」ボタン押下 カテゴリリストの任意のチェックボックスをチェックし、「無効/有効」ボタンを押下することにより、無効だったカテゴリは有効に、有効だったカテゴリは無効に変わる。 8．「▲」ボタン押下 カテゴリリストの任意のチェックボックスをチェックし、「▲」ボタンを押下することにより、選択した行と直前の行のカテゴリを入れ替える。 9．「▼」ボタン押下 カテゴリリストの任意のチェックボックスをチェックし、「▼」ボタンを押下することにより、選択した行と直後の行のカテゴリを入れ替える。 10．更新ボタン押下 表示しているカテゴリリストの内容をカテゴリマスタに反映する。 11．閉じるボタン押下 カテゴリ追加・修正・削除画面を閉じる。		有（DB：保持（USR_KENTAN）） 有（DB：保持（USR_KENTAN））
82	保険者問合せ要望支援システム	管理メニュー	カテゴリー一覧	基盤ベンダ	カテゴリと対応する一次受付の担当者を一覧表示する。 「カテゴリ」及び「一次回答者」の修正等を行うことができる。	1．初期表示 種別「問合せ」のカテゴリの一覧をリスト表示する。 2．種別の変更 種別「問合せ」「ファイル転送」を変更すると、選択した種別のカテゴリ一覧を再表示する。 3．「カテゴリ追加・修正・削除」ボタン押下 カテゴリ一覧画面を終了し、カテゴリ追加・修正・削除画面へ遷移する。 4．「一次回答者定義」ボタン押下 編集したい行のラジオボタンをチェックし、一次回答者定義ボタンを押下する。 5．閉じるボタン押下 カテゴリ一覧画面を終了する。		有（DB：保持（USR_KENTAN））
83	保険者問合せ要望支援システム	管理メニュー	ログ取得画面	基盤ベンダ	保険者問合せ要望支援システムに関する保険者の操作状況を確認するためにログを表示する。	1．更新ボタン押下 更新ボタンを押下し、直近のシステム稼働状況を記録したログファイルの内容（アクセス日時、保険者番号、ログインID、メッセージ）を画面に表示する。 2．ダウンロードボタン押下 ダウンロードボタンを押下し、ログファイルをダウンロードする。 3．閉じるボタン押下 ログ取得画面を終了する。		有（DB：保持（USR_KENTAN））
84	保険者問合せ要望支援システム	管理メニュー	一括抽出取込画面	基盤ベンダ				有（DB：保持（USR_KENTAN））
85	訪問健康相談支援システム（国保）	訪問指導対象者抽出		基盤ベンダ				
86	訪問健康相談支援システム（国保）	指導実績一括登録		基盤ベンダ				
87	訪問健康相談支援システム（国保）	事業評価		基盤ベンダ				
88	訪問健康相談支援システム（後期）	訪問指導対象者抽出		基盤ベンダ				
89	訪問健康相談支援システム（後期）	事業評価		基盤ベンダ				
90	情報提供票等データ管理システム	治療中未受診者抽出		基盤ベンダ				
91	情報提供票等データ管理システム	データチェック		基盤ベンダ				
92	独自基盤メニュー	連合会マスタ管理システム	福祉マスタ参照	基盤ベンダ	市町村より毎月送信される福祉マスタを参照できる機能（最大36ヶ月確認可能）	市町村：福岡県独自システム保険者問合せ要望支援システムより福祉マスタ送信（～10日） 連合会：福岡県独自システム 国保請求支払業務 エラー情報生成 福岡県独自システムメンテナンスより福祉マスタ取込（13日） NEC：連合会が取り込んだ福祉マスタを基に独自基盤メニュー、連合会マスタ管理システム 福祉マスタ参照に連携	NEC運用 共同電算係	他システムからの連携 有 連携ファイル：IF_FSQIE001（福祉マスタメンテナンスデータ（保険者提供）） DBテーブル：FSQ_smIEFuKu（福祉マスタ） 他システムへの連携 無
93	独自基盤メニュー	連合会マスタ管理システム	医療機関マスタ連携	基盤ベンダ				
94	独自基盤メニュー	汎用データ抽出		基盤ベンダ	独自基盤上にあるテーブルの情報を抽出する時に使用する機能 標準システムにも同じ機能はあるが、独自基盤上のデータについては抽出できないため開発した。	・広域連合からの依頼により、年3回使用 ・通常業務でテーブルからの情報を取得し、ツールに取り込んで使用しているデータもある	NEC運用、請求支払係、審査調整係	・FOC_cmtKcrskg：累積過誤 ・FOC_cmtKCrss：累積再審査 ・FOC_cmtKczgin：全額マスタ ・FOC_ctrKcago：当月過誤データ ・FOC_ctrKctmk：確定明細（後期当月のみ）

No	システム区分	機能範囲1	機能範囲2	開発区分	システム概要	運用フロー	運用人員	システム連携
95	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額療費費 地単補正		基盤ベンダ	標準システム（国保総合システム）では、福岡県独自の地域単独事業に係るレセプトの金額計算（按分）が不可能であるため、標準システムから本会独自システムにデータを投入し、独自システム側で正しく（市町村ごとの按分ルール等にとった金額）補正が可能となるような仕組みを構築している。 共同電算処理日程にてスケジュールを示しており、本会がデータ投入後の一定期間、市町村が金額の補正をすることができ。補正後に標準システム側へ再度データを連携し、支給決定を行う。	運用手順 別紙マニュアルを参照 スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） イミングに★をつけています 令和3年12月16日 高額療費費本算定（国保総合システム） ★令和3年12月21日～23日 地方単独事業分データ補正★ （療費費・高額療費費業務外部システム 高額療費費地単補正） 令和3年12月27日 月締め処理（国保総合システム）	共同電算係 63保険者（高額療費費委託・参考委託保険者）→参考委託保険者は使用していない。	他システムからの連携 有 連携ファイル： KD_IF033（高額療費費地単分連携データ） 他システムへの連携 有 連携ファイル： KD_IF034（高額療費費地単分連携データ） DBテーブル： FKD_strkRcalr（高額療費費振り分け計算結果データ（累積）） FKD_strkRcalt（高額振り分け結果 当月） FKD_strkRcalt_anb（高額振り分け 按分） FKD_strkRcalt_ken（高額振り分け 異費） FKK_strkRskek_dkj（高額療費費計算結果） FKK_strkRskti_dkj（高額療費費計算過程） FKK_strkRskez（高額療費計算結果真正通済） FKK_strkRsktz（高額計算過程真正通済） FKD_strkRskti_cmp（高額計算過程比較） FKK_trRposetdb（高額オプション設定） FKK_smtRrhskm（地単補正期間）
96	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額療費費 貸付システム		基盤ベンダ	標準システム（国保総合システム）では、高額療費費の貸付の管理が不可能であるため、標準システムから本会独自システムにデータを投入し、高額療費費の貸付の管理が可能となるような仕組みを構築している。 本会がデータ投入後に、保険者が貸付金額の内訳、貸付年月日、振込先等の情報を入力し、貸付者の情報を管理する。	運用手順 別紙マニュアルを参照 スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） イミングに★をつけています ★令和3年12月24日 高額療費費貸付システム反映・入力★	60市町村	他システムからの連携 有 DBテーブル： FKD_strkRskek_dkj（高額療費費計算結果） FKK_strkRskti_dkj（高額療費費計算過程） 他システムへの連携 無
97	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額療費費 地単補正期間メンテナンス		基盤ベンダ	標準システム（国保総合システム）では、福岡県独自の地域単独事業に係るレセプトの金額計算（按分）が不可能であるため、標準システムから本会独自システムにデータを投入し、独自システム側で正しく（市町村ごとの按分ルール等にとった金額）補正が可能となるような仕組みを構築している。 共同電算処理日程にてスケジュールを示しており、本会がデータ投入後の一定期間、市町村が金額の補正をすることができ。補正後に標準システム側へ再度データを連携し、支給決定を行う。 市町村にて金額補正が可能な期間を本機能にて制御ができる。	運用手順 別紙マニュアルを参照 スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） 令和3年12月16日 高額療費費本算定（国保総合システム） 令和3年12月21日～23日 地方単独事業分データ補正（療費費・高額療費費業務外部システム 高額療費費地単補正） 令和3年12月27日 月締め処理（国保総合システム） システムの使用タイミングとしては、翌月のスケジュールが確定した時点でシステムに操作可能な期間を設定する。（委託電算会社での作業） なお、保険者の登録遅れ等の連絡があった場合等は、NECと相談し、一時的に操作可能な期間を変更する場合がある。（連合会での作業）	NEC運用担当者 共同電算係担当	他システムからの連携 無 他システムへの連携 無
98	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額療費費 オプション設定		基盤ベンダ	標準システム（国保総合システム）では、福岡県独自の地域単独事業に係るレセプトの金額計算（按分）が不可能であるため、標準システムから本会独自システムにデータを投入し、独自システム側で正しく（市町村ごとの按分ルール等にとった金額）補正が可能となるような仕組みを構築している。この処理のために必要な設定内容を管理しており、保険者にて変更が可能である。また、本会の独自根拠について、文言や抽出条件等保険者にて設定可能な仕組みを構築している。 【例】 ・高額療費費算定金額の地単振り分けパターン（按分/県費寄せ） ・支給決定通知書の文言変更等 ・支給申請書の文言変更等 ・支払処理簿の出力期間設定等 ・高額療費費支給累積リストの出力期間設定等	運用手順 別紙マニュアルを参照 使用タイミング・・・随時（高額療費費算定金額の地単振り分けパターンについては、設定変更を当月から反映させる場合は、国保総合システムから本会独自システムへの連携前に実施する必要がある。）	共同電算係担当 保険者	他システムからの連携 無 他システムへの連携 無
99	療費費・高額療費費業務 外部システム	各種帳票出力		基盤ベンダ	標準システム（国保総合システム）では、福岡県独自の地域単独事業に係るレセプトの金額計算（按分）が不可能であるため、標準システムから本会独自システムにデータを投入し、独自システム側で正しく（市町村ごとの按分ルール等にとった金額）補正が可能となるような仕組みを構築している。 本機能では、毎月の本算定の情報から「高額療費費支給申請のお知らせ」や「高額療費費支給累積リスト」を保険者の任意のタイミングで作成できる。	運用手順 別紙マニュアルを参照 使用タイミング・・・随時（高額療費費動受通知について本会に委託している場合は、本会運用にて月初に実施）	共同電算係担当 保険者	他システムからの連携 無 他システムへの連携 無
100	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額療費費（外来年間合算） 地単補正		基盤ベンダ	保険者では、高額療費費や外来年間合算において支給額計算に用いる自己負担額に地単公費負担を含む場合、算出された支給額の一部または全部について公費会計への返還処理を実施している。この処理の支援として、地単振分機能を提供し外来年間合算では単月の高額療費費算定の情報を基に支給額の振分を行い、情報提供を行っている。 標準システムでは被保険者からの申請を受け付け実施する本算定においては、決定登録の際に保険者にて地単公費償還額を任意の値へ補正することが可能であるが、仮算定においては保険者による地単公費償還額の補正が行えないため、本機能より仮算定時に保険者による地単公費償還額の補正が可能となるような仕組みを構築している。 共同電算処理日程にてスケジュールを示しており、本会がデータ投入後の一定期間、市町村が金額の補正をすることができ。	運用手順 別紙マニュアルを参照 スケジュール（令和3年10月共同電算処理日程より） イミングに★をつけています 令和3年10月11日～19日 自己負担額等補正期間 ★令和3年10月21日～22日★ 地方単独事業分データ補正期間 令和3年10月26日 動受通知等一括出力	NEC、共同電算係、国保保険者63	他システムからの連携 有 連携ファイル： KD_IF798（高額療費費（外来年間合算）地単分データ） 他システムへの連携 有 連携ファイル： KD_IF799（高額療費費（外来年間合算）地単分計算結果データ） DBテーブル： FKD_GAIRAI_CALT（外来年間合算振り分け計算結果データ（当月）） FKD_GAIRAI_CALM（外来年間合算振り分け計算過程データ（当月）） FKD_GAIRAI_CALA（外来年間合算振り分け計算異動単位過程データ（当月）） FKD_GAIRAI_KOHM（外来年間合算公費負担者明細データ（当月）） FKD_GAIRAI_KOHT（外来年間合算公費負担者データ（当月）） FKD_GAIRAI_CALT_R（外来年間合算振り分け計算結果データ（累積）） FKD_GAIRAI_CALMR（外来年間合算振り分け計算過程データ（累積）） FKD_GAIRAI_CALAR（外来年間合算振り分け計算異動単位過程データ（累積）） FKD_GAIRAI_KOHR（外来年間合算公費負担者明細データ（累積）） FKD_GAIRAI_KOHT_R（外来年間合算公費負担者データ（累積））
101	療費費・高額療費費業務 外部システム	高額介護合算療費費 地単補正		基盤ベンダ	保険者では、高額療費費や高額介護合算において支給額計算に用いる自己負担額に地単公費負担を含む場合、算出された支給額の一部または全部について公費会計への返還処理を実施している。この処理の支援として、地単振分機能を提供し高額介護合算では単月の高額療費費算定の情報を基に支給額の振分を行い、情報提供を行っている。 標準システムでは被保険者からの申請を受け付け実施する本算定においては、決定登録の際に保険者にて地単公費償還額を任意の値へ補正することが可能であるが、仮算定においては保険者による地単公費償還額の補正が行えないため、本機能より仮算定時に保険者による地単公費償還額の補正を可能とするよう仕組みを構築している。 共同電算処理日程にてスケジュールを示しており、本会がデータ投入後の一定期間、市町村が金額の補正をすることができ。	運用手順 別紙マニュアルを参照 スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） イミングに★をつけています 令和3年12月10日～16日 療保自己負担額補正期間 ★令和3年12月22日～23日★ 地方単独事業分データ補正期間 令和3年12月24日 動受通知等一括出力 令和3年12月24日～27日 計算結果確認	NEC、共同電算係、63保険者	他システムからの連携 有 連携ファイル： KD_IF069（高額介護合算療費費地単分データ（交換識別番号なし）） 他システムへの連携 有 連携ファイル： KD_IF070（高額介護合算療費費地単分計算結果データ（交換識別番号なし）） DBテーブル： FKD_strkRcalt（高額介護合算療費費振り分け計算結果データ（当月分）） FKD_strkRcalr（高額介護合算療費費振り分け計算結果データ（累積）） FKD_strkRkoht（高額介護合算療費費振り分け計算公費負担者番号データ（当月）） FKD_strkRkoht_r（高額介護合算療費費振り分け計算公費負担者番号データ（累積）） FKD_strkRgkalt（仮算定用高額介護合算療費費振り分け計算結果データ（当月分）） FKD_strkRgkcalr（仮算定用高額介護合算療費費振り分け計算結果データ（累積）） FKD_strkRgkkoht（仮算定用高額介護合算療費費振り分け計算公費負担者番号データ（当月）） FKD_strkRgkkoht_r（仮算定用高額介護合算療費費振り分け計算公費負担者番号データ（累積））
102	データ提供システム	レセ電コード情報出力		連合会職員	・保険者からデータ提供の依頼を受けた際に該当データを抽出・出力する。 ①レセ電コード情報 ②医療機関情報 ③レセプト情報 ④レセ電コード情報・医療機関情報登録処理	毎月、④によりレセ電コード情報ファイル、医療機関情報を独自基盤システムDBに格納 ③レセプト情報については、累積レセプト情報を独自基盤システムに格納（参照or取込？）		国保総合システムで作成されるレセ電コード情報、医療機関情報及びレセプト累積情報
103	データ提供システム	医療機関情報出力		連合会職員	同上			
104	データ提供システム	レセプト情報出力		連合会職員	同上			
105	データ提供システム	レセ電コード情報（後期）出力		連合会職員	同上			
106	データ提供システム	レセ電コード情報・医療機関情報登録処理		連合会職員	同上			
107	一次資格返戻システム	一次資格返戻レセプト選択（返戻理由入力）		基盤ベンダ	本システムは、保険者において要望があった、一次審査時点で資格エラー情報を確認し、請求確定前に国保連合会（保険医療機関（保険薬局））に返戻を行うことで、保険者における当該レセプトの過誤処理事務を軽減するとともに、保険医療機関（保険薬局）に対し無資格状態であることを早期に通知することで翌月以降の誤った請求を減らすことを目的とするもの。（対象はレセ電のみ） 国保請求支払システムの当月レセプトテーブルにおいて、「日次資格点検」で発生した「資格給付点検エラー」の情報を独自基盤のテーブルに取り込みを行う。	運用フロー別参照（※参考資料） スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） 一次資格返戻レセプト選択・返戻理由入力期間（令和3年12月17日～23日）	NEC運用 共同電算係 63保険者	他システムからの連携 有 他システムへの連携 有 リアルタイム情報より保険者処理状況等を連携 DB： FKD_HrConsErr（一次資格返戻候補エラー情報） FKD_HrConsRet（一次資格返戻候補レセプト） FKD_HrConsRcor（一次資格返戻候補レセプト（累積）） FKD_REDATABTB（算定日情報テーブル） FKD_HRCONSSTS（資格得喪テーブル） FKD_HRCONSTSR（得喪履歴テーブル）
108	一次資格返戻システム	一次資格返戻レセプト参照		基盤ベンダ	一次資格返戻レセプト選択期間終了日以降、一次資格返戻レセプト選択（返戻理由入力）画面で返戻対象の選択・返戻理由の入力を行えないようにするため、期間終了日に「一次資格返戻レセプトテーブル」の情報を参照して、「一次資格返戻レセプトテーブル（累積）」に情報を移行し、過去の一次資格返戻レセプトの参照を行う。	スケジュール（令和3年12月共同電算処理日程より） 一次資格返戻レセプト選択・返戻理由入力期間（令和3年12月17日～23日）→24日より参照可能	NEC運用 共同電算係 63保険者	他システムからの連携 有 他システムへの連携 無 DB： FKD_HrConsErr（一次資格返戻候補エラー情報） FKD_HrConsRet（一次資格返戻候補レセプト（累積）） FKD_HrConsRcor（一次資格返戻候補レセプト（累積））
109	医療保険履歴レセプト管理システム	医療保険履歴レセプト管理システム		基盤ベンダ				

No	システム区分	機能範囲1	機能範囲2	開発区分	システム概要	運用フロー	運用人員	システム連携
110	印刷対象選別システム	高額療養費助受通知書	印刷対象検索・選別	連合会職員	・保険者共同処理特別委託業務のうち、「高額療養費助受通知書」「医療費通知書」「被保険者証」の印刷データを保険者が確認し、連合会で作成（印刷委託）する。	1. 高額療養費助受通知書（毎月） 利用保険者数：10 ①毎月作成対象保険者の印刷対象診療月を設定、印刷データを作成（連合会） ②印刷除外の設定（保険者） ③印刷レイアウト確認（保険者） ④委託印刷用のデータ作成（連合会） 2. 医療費通知書（毎月：保険者によって出力月が異なる） 利用保険者数：59 ①被保マスタ取込（NEC：Job適用） ②被保マスタより印刷対象選別（1次）・除外（印刷データ作成しない）設定（保険者・画面上） ③印刷対象データ作成、独自システムに取込（パッチ処理：NEC） ④印刷後の引抜対象設定（保険者） ⑤印刷データ・引抜対象データ（CSV）出力、印刷委託業者へ渡す（連合会） 3. 被保険者証印刷対象検索・選別（毎年5月・6月） 利用保険者数：5（印刷委託：21） ①国保総合システムの被保険者証・高齢受給者証印刷連携用データ作成（NEC） ②上記データを独自システムに取込（連合会） ③引抜対象設定（保険者）		
111	印刷対象選別システム	高額療養費助受通知書	印刷レイアウト設定	連合会職員	同上			
112	印刷対象選別システム	高額療養費助受通知書	連合会管理	連合会職員	同上			
113	印刷対象選別システム	医療費通知書	印刷対象検索・選別（1次）	連合会職員	同上			
114	印刷対象選別システム	医療費通知書	印刷対象検索・選別（2次）	連合会職員	同上			
115	印刷対象選別システム	医療費通知書	連合会管理	連合会職員	同上			
116	印刷対象選別システム	被保険者証	印刷対象検索・選別	連合会職員	同上			
117	印刷対象選別システム	被保険者証	保険者別設定マスタ	連合会職員	同上			
118	印刷対象選別システム	被保険者証	連合会管理	連合会職員	同上			
119	後期高齢者医療	分割返還金管理システム		連合会職員	・後期広域連合より提出された返還金の分割処理（返還額が高額になる医療機関の場合に数力月に分けて返還処理を行う。）の依頼を受け、受付から変換完了までの処理状況を管理する。	①後期広域連合から返還金の分割処理依頼（文書） ②上記依頼書の分割金額に処理年月記入し、申出書を処理月単位で裏にして処理年月を記入 ③本システムに依頼内容を登録 ④後期請求支払システムに返還金入力・確認 ⑤リアルタイム帳票で医療機関ごとの返還金額確認 ⑥確定処理後、後期請求支払システムから累積通算データを本システムに取り込む ⑦本システムにより処理状況確認リストを出力 ⑧後期広域連合にリストを送付する。（処理状況及び報告） ⑨継続の場合は、③～⑦を繰り返す ⑩処理完了の場合、後期広域連合に完了報告を送付 ※本システムに「過誤処理結果表」及び「処理結果報告書」の公開機能があるが、現在未使用（紙で送付）		後期請求支払システム ・累積通算データ
120	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策事業受付整理簿		連合会職員	（目的） 風しん対策に係る総括書等は、全て紙媒体で請求されるため、手作業で受付及び業務プロセスの進捗管理を行うと多大な時間を要する。効率化を図るため受付整理機能システムを改修し、受付件数登録・業務プロセスの進捗管理・パッチ票出力等の機能を追加する。 （概要） ・風しん請求総括書受付整理機能 ・個別件数入力機能 ・OCRパッチ票出力機能 ・風しん事務処理確認表出力機能 ・風しん請求受付件数集計表出力機能	別紙マニュアル、運用フロー参照	職員1人 派遣2人	他システムとの連携有
121	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策画像点検システム		連合会職員	・受診票等の画像表示、検索機能 ・画像内容点検機能 ・各種帳票出力機能 ・請求書等のCSV作成機能	別紙マニュアル参照	職員6人 派遣2人	他システムとの連携有
122	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策画像取得システム		連合会職員	・画像点検システムへの画像の取り込み機能 ・国保総合システムの請求支払情報取得機能 ・国保総合システムの修正結果更新機能	別紙マニュアル参照	職員1人	他システムとの連携有 ・OCRエントリデータ ・OCR画像イメージファイル ※国保総合システムのテーブルの詳細は不明です
123	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策帳票結合・公開システム		連合会職員	・独自システムの電子帳票出力画面、電子帳票管理システムへの各種帳票、CSVの公開機能 ・医療機関向けの複数帳票を医療機関ごとに結合、出力機能	別紙マニュアル参照	職員1人	他システムとの連携有
124	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策返戻一括更新情報作成システム		連合会職員	・画像点検システムで返戻した受診票等情報のCSV作成機能	別紙マニュアル参照	職員1人	
125	風しん対策・新型コロナワクチン接種	風しん対策特定記録問合せ番号管理システム		連合会職員	・特定記録郵便の支払額通知書へのバーコード表示機能 ・受領証の出力機能	別紙マニュアル参照	職員1人	他システムとの連携有
126	風しん対策・新型コロナワクチン接種	電子帳票管理システム		連合会職員	・各種帳票の印刷、CSV出力機能（市町村割）	別紙マニュアル参照	連合会職員1人 市町村担当者	
127	レセプト点検システム	事務マスタ						
128	レセプト点検システム	処理実行確認						
129	後発医薬品普及促進事業	除外個別設定		基盤ベンダ				
130	情報提供票等データ管理システム（後期）	治療中未受診者抽出（後期）						
131	情報提供票等データ管理システム（後期）	データチェック（後期）						
132	独自基盤管理メニュー	システムマスタメンテナンス	メニューメンテナンス					
133	独自基盤管理メニュー	システムマスタメンテナンス	権限メンテナンス					
134	独自基盤管理メニュー	システムマスタメンテナンス	ユーザメンテナンス					